

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学演習Ⅱ		演習・講義	石原 真奈美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
下肢の骨や靱帯、関節の構造と機能を理解し、その関節が筋肉の働きによってどのように動いているのかを理解する。そうすることで、患者の運動や動作を分析する上での基礎学力の習得を目指す。骨格標本等を用いて立体的に理解できるように授業を進める。学んだ内容について「骨と靱帯」「筋の作用」の2分野に分けて口頭試問を実施し理解度の確認を行うことで、実践的な知識の習得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 下肢の骨・関節・靱帯を説明できる。 2. 下肢の筋の起始・停止・作用・神経支配を説明できる。 3. 歩行での筋の働きについて説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	骨の構造と骨部位の名称			
2	関節の構造と靱帯の作用			
3	骨・関節のまとめ			
4	まとめと下肢の骨・靱帯の口頭試問			
5	筋の起始・停止・作用・支配神経、歩行時の筋の作用①			
6	筋の起始・停止・作用・支配神経、歩行時の筋の作用②			
7	筋の起始・停止・作用・支配神経、歩行時の筋の作用③			
8	まとめと下肢の筋の口頭試問			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%	授業の理解度を評価する		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	50%	口頭試問を行う		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版		野村巖 編	医学書院	
分冊解剖学アトラスⅠ運動器 第6版		平田幸男 訳	文光堂	
基礎運動学 第6版補訂		中村隆一 他	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版		林 典雄	メジカルビュー社	
自由記載				
備考				